



まちづくり懇談会資料①

これからのまちづくりについて

栗山町長 佐々木 学

第7次総合計画の重点プロジェクト

次代のくりやまを担う
「子どもたち」が元気まち

【若者定住対策
・ 教育環境整備】

共に支え合い生きがいをもって
暮らせる「ひと」が元気なまち

【健康寿命延伸
・ 連帯協働】

4つの重
点
プロ
ジェ
クト

地域資源を活かし心豊かに
暮らせる「地域」が元気な
まち

【自然環境保全・
都市基盤整備】

地域経済を支える
「産業」が元気なまち

【産業振興対策】

重点プロジェクト①

「子どもたち」が元気なまち

次代のくりやまを担う「子どもたち」が元気まち
【若者定住対策・教育環境整備】

■ 重点的に実施する施策群

【重点施策 1】 若者、子育て世代が移住・定住しやすい環境づくりの推進

- 若者・子育て世代の移住を促進する環境づくりの推進
- 若者世代が求める雇用の場づくりの推進
- 都市圏への交通アクセスなど、公共交通の利便性の向上

【重点施策 2】 地域ぐるみで安心して子育てができる環境づくりの推進

- 子育てや発達支援、保育サービスなどの充実

【重点施策 3】 教育環境のブランド化の推進

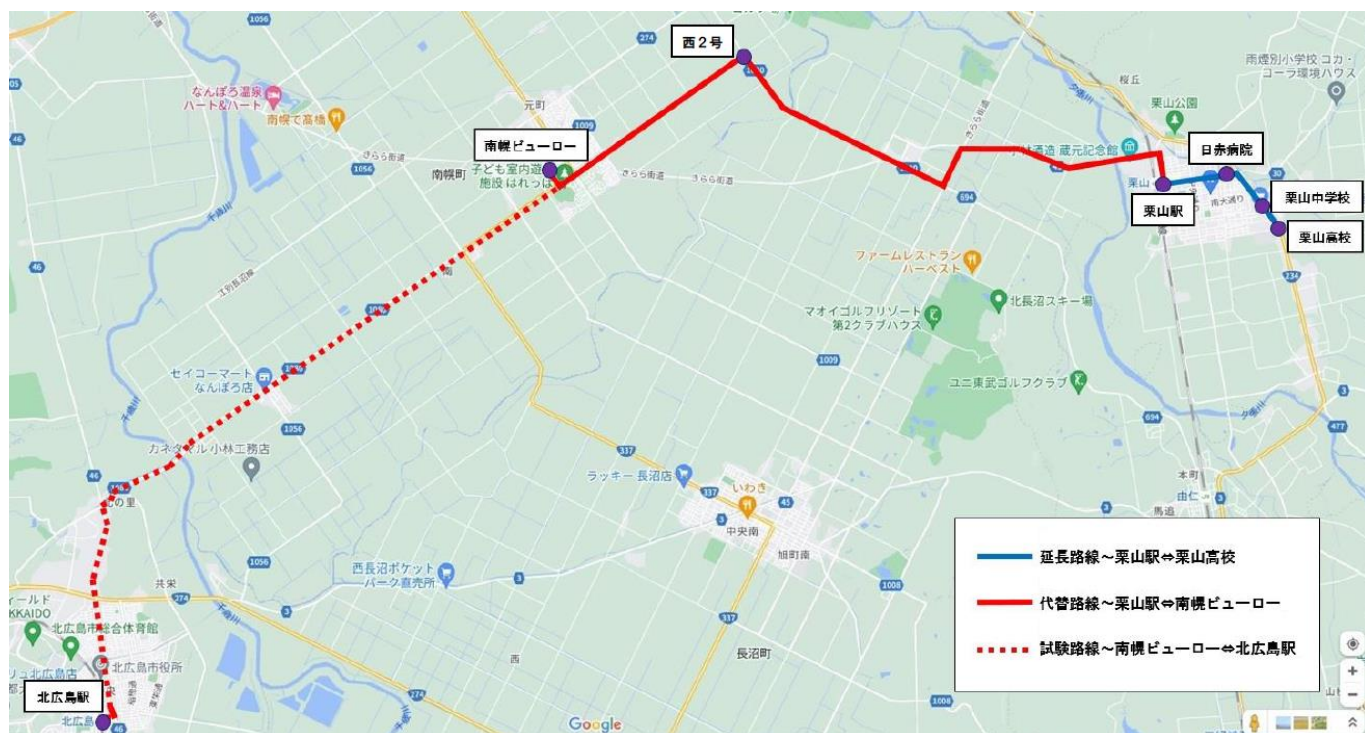
- 各種教育施設等が連携した教育プログラムの推進
- 地域資源を活かした「ふるさと教育」の推進
- 国際交流を通じて国際感覚を身に付けた人材の育成
- 魅力ある栗山高校づくりの推進



●都市圏への交通アクセスなど、公共交通の利便性の向上

交通アクセスの利便性

●栗山町デマンドバスの運行開始 栗山町内～南幌ビューロー～北広島駅の利用



●各種教育施設等が連携した教育プログラムの推進

高・専一貫教育プログラムの開発

●福祉を軸にした新たな教育モデルの開発

- ☞ 文部科学省委託事業（専修学校による地域産業中核的人材養成事業）
- ☞ 新たな教育モデル（介護福祉学校と栗山高校との連携による福祉教育）
- ☞ 教育プログラム開発のための体制（「魅力化コンソーシアム」の構築）

高等学校段階【栗山高校】

高校1年生	高校2年生	高校3年生
-------	-------	-------

必修科目「栗山と福祉」
※3年次選択科目：フードデザイン

- ◆ 栗山高等学校で学ぶ3年間で生徒全員が総合科目「（仮称）栗山と福祉」を履修
- ◆ 栗山町の高齢化の実態と課題解決方法に関する学習を実施
- ◆ 探究学習や進路指導を支援するプログラムの活用
- ◆ 介護学生、福祉・介護専門職とともに演習できる機会の創出
- ◆ 介護職員初任者研修の資格取得修了や進学による国家資格取得への動機づけ、介護学生との合同授業

専門学校段階【介護福祉学校】

専門学校1年生	専門学校2年生
---------	---------

介護福祉学科

- ◆ 介護福祉士を取得し施設・地域で活動できる能力（医療的ケアを含む。）の育成
- ◆ 介護福祉としての基準科目と独自科目の地域活動研究の実施や、キャリア形成支援講座の開設により、地域を俯瞰し、地域づくりに関与する能力の育成
- ◆ 次世代の人材づくりのためのプレゼン能力の養成



●魅力ある栗山高校づくりの推進

魅力ある高校・選ばれる学校づくりの推進

●女子硬式野球部の活動支援

- ☞ 活動開始に係る官民一体となった支援や生徒受入れに必要な環境整備など継続した取組
- ☞ 指導者を中心に女子野球界との関係構築や栗山高校との中学校への訪問・営業活動、後援会組織など官民協働による各種大会や女子野球体験会の開催、各種メディアを活用した情報発信など、積極的なPR活動を全国展開し生徒確保を実現

全国大会で初勝利



地域の団体が野球部の活動を応援！



9月に体験会を開催



重点プロジェクト② 「ひと」が元気なまち

共に支え合い生きがいをもって暮らせる「ひと」が元気なまち
【健康寿命延伸・連帯協働】

■ 重点的に実施する施策群

【重点施策1】 町民が心身ともに健やかに暮らせるまちづくりの推進

- 町全体で健康づくりを支え守るための環境づくりの整備
- 地域に必要な医療受診環境の整備

【重点施策2】 生活習慣の改善と介護予防の推進

- 生活習慣病やがん予防に向けた健（検）診受診率の向上
- 介護人材の育成や地域の支え合い活動の推進など介護予防の充実

【重点施策3】 デジタル化の推進及び町民と行政の連帯・協働による 地域活性化

- デジタル技術の活用による住民サービスの向上
- 新たな情報発信体制による地域コミュニティの活性化など情報発信の充実
- 女性活躍の推進



●地域に必要な医療受診環境の整備

栗山赤十字病院の改築事業

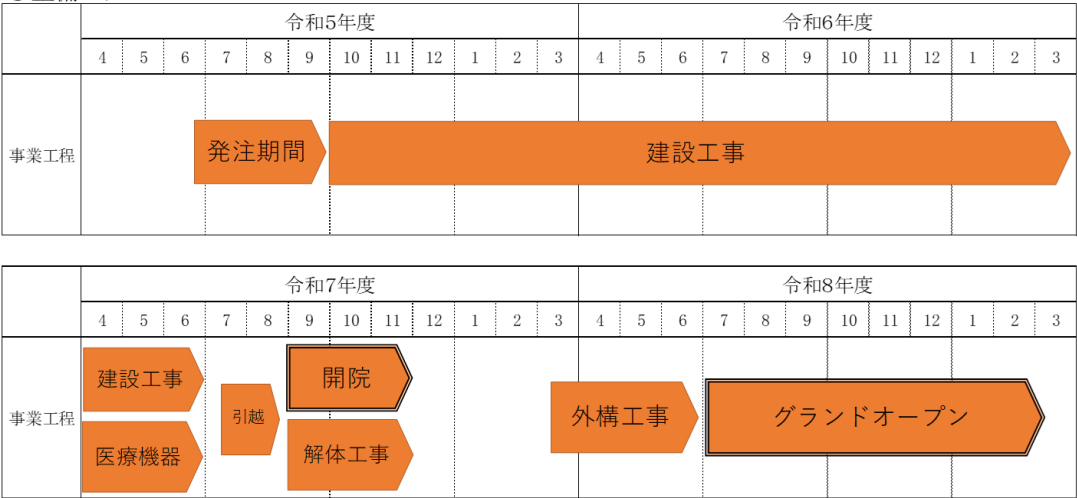
- ☞ 診療科は、現状の全12科を維持
- ☞ 病床数は、現状136床から103床に変更



区 分	事業費
建設費	5,142,341,000円
解体費・外構工事等	648,917,000円
医療機器	580,000,000円
合 計	6,371,258,000円

施設整備事業に係る地元業者の
参画について要望書の提出

○整備スケジュール



●介護人材の育成や地域の支えあい活動の推進など介護予防の充実

地域一体となって支え合う環境づくり

- ☞ 介護サービスの新たな担い手育成、介護従事者の資質向上（初任者研修事業、資格取得支援など）
- ☞ 介護福祉学校による介護福祉士養成（国家試験対策、自治体包括連携など）
- ☞ ケアラー支援の充実（お出かけ安心サービス事業、相談・支援体制の構築など）



ケアラー支援学習会の様子



ケアラー支援講演会の様子



「地域」が元気なまち

地域資源を活かし心豊かに暮らせる「地域」が元気なまち
【自然環境保全・都市基盤整備】

■ 重点的に実施する施策群

【重点施策1】 栗山の自然・歴史・文化の保全・再生

- 豊かな自然・里山環境の保全・再生
- 郷土芸能の継承活動の推進など文化遺産の理解促進

【重点施策2】 安定したごみ処理体制の構築と地球温暖化対策の推進

- 広域共同処理によるごみ処理体制の構築
- 温室効果ガスの排出抑制対策など地球温暖化対策の推進

【重点施策3】 安全・安心な都市基盤の整備

- 安全・安心な道路環境の維持・確保
- 安全・安心な居住環境の整備
- 魅力的な街並み・景観づくりの推進



●安全・安心な道路環境の維持・確保

冬期間における道路環境の整備

●除排雪事業あり方検討会議の設置

- ☞ 持続可能な除排雪体制を検討するため、除排雪事業あり方検討会議を設置
- ☞ 構成員は町内会・自治会などの地域住民、学校や除雪組合の関係者、さらに、除排雪に関する有識者
- ☞ 除雪出動基準の見直し
- ☞ 除排雪作業施工管理基準の見直し



除排雪事業あり方検討会議での議論



●安全・安心な居住環境の整備

分譲地の整備

●中里地区分譲地整備（第1期造成事業）



整備前



整備中

- 👉 令和5年度 造成工事
- 👉 令和5年度 販売開始
- 👉 分譲区画数 20区画
- 👉 総事業費 1億9,900万円

●中央団地跡地分譲地整備



解体前



解体後

- 👉 令和5年度 跡地住宅解体
- 👉 解体事業費 2,189万円
- 👉 令和9年度 実施設計（予定）
- 👉 令和10年度 造成工事（予定）
- 👉 令和10年度 販売開始（予定）

●安全・安心な居住環境の整備

公営住宅の整備

●継立西団地の建替え



完成予想図

- 👉 令和5年度 木造平屋建2棟
8戸建替え工事
- 👉 令和5年度 入居開始
- 👉 事業費 1億9,982万円
- 👉 令和6年度 既存住宅解体
- 👉 解体事業費 1,000万円

●中里団地の建替え



完成予想図

- 👉 令和5年度 実施設計
- 👉 事業費 875万円
- 👉 令和6年度～11年度
12棟96戸建替え工事
- 👉 総事業費 約25億円

「産業」が元気なまち

地域経済を支える「産業」が元気なまち 【産業振興対策】

■ 重点的に実施する施策群

【重点施策1】 農地を守り、持続可能な農業を推進

- 生産性の向上や災害に強い農業基盤の整備
- 円滑な農地継承の推進による持続可能な農業生産体制の構築

【重点施策2】 魅力ある商工業等の振興と関係人口の創出

- 企業誘致活動及び企業版ふるさと納税の推進
- 魅力ある商店街及び観光・交流における組織体制づくりの推進

【重点施策3】 担い手育成及び雇用環境づくりの推進

- 農林業の担い手育成の推進
- 労働者への支援策検討など労働環境の向上
- ものづくりを通じた地域活動や地域産業の担い手育成の推進



●生産性の向上や災害に強い農業基盤の整備

持続可能な農業の推進

●生産性の高い農業・農業新技術の取組を推進

- ☞ほ場の大区画化と併せ、担い手に農地を集積（営農効率の向上）
- ☞栗山町土地改良センターの設置（農地整備事業の推進）
- ☞農作業の省力化・軽労化を推進（スマート農業の導入）



整備中（継立北部）



整備後（継立北部）

■農地整備事業の予定

①継立北部	H 27～R 6	総事業費	30億8,500万円
②円山	R 3～R 10	総事業費	15億9,600万円
③富士	R 5～R 13	総事業費	52億円
④御園南部	R 4～R 10	総事業費	9億8,000万円
⑤御園北部	R 6～	総事業費	35億円（予定）
⑥御園中部	R 7～	総事業費	29億円（予定）
⑦北学田南部	R 10～	総事業費	40億円（予定）
⑧北学田北部	R 11～	総事業費	40億円（予定）
⑨雨煙別	R 13～	総事業費	33億円（予定）
⑩鳩山	R 14～	総事業費	28億円（予定）
⑪中里	R 15～	総事業費	36億円（予定）
		計	349億6,100万円



無人トラクター



ドローンを使用した
スマート農業

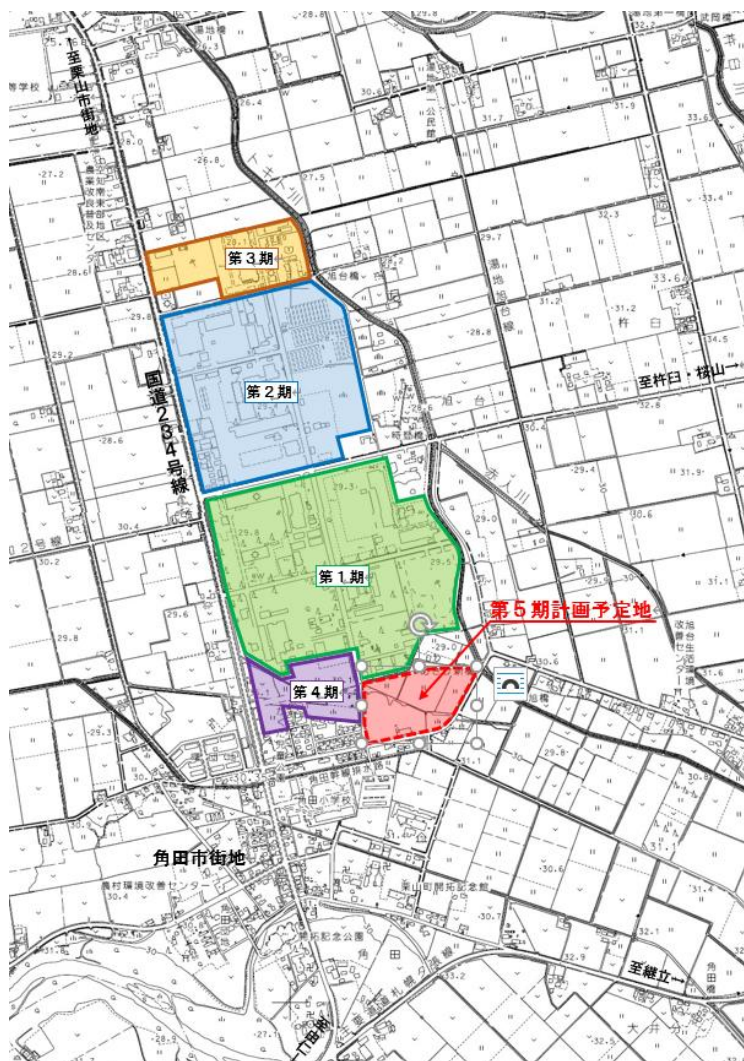
●企業誘致活動及び企業版ふるさと納税の推進

栗山工業団地造成事業

- 👉 令和5年 8月 造成工事着工
- 👉 令和5年10月 造成工事完了・分譲販売開始
- 👉 全体事業費 5億1,819万円

●第5期栗山工業団地造成事業計画位置図

- 👉 所在地 栗山町字旭台43番地3ほか
- 👉 整備面積 46,113m²



●魅力ある商店街及び観光・交流における組織体制づくりの推進

関係人口創出の拠点 栗山煉瓦創庫くりふと

●“栗山煉瓦創庫くりふと”の関係人口づくり事業

☞ 栗山駅南交流拠点施設「栗山煉瓦創庫 くりふと」グランドオープン

☞ 令和6年春コミュニティFM放送の開局予定

